

子供たちの心身共に健やかな成長を願って、昨年度より実施している取組を紹介します。これらの取組は学校だけではなく、家庭と連携することでより大きな成果となっていくことが期待できます。学校での取組の様子、ご家庭で協力いただきたいことをこの「すこやか通信」を通してお知らせいたします。また、職員室前の掲示板では取組の様子を撮影した写真などを掲示しますので、来校時にご覧ください。

体育の研究をしています！

研究主題

「どの子ども体を動かす楽しさを味わい、運動する意欲を高める立野の子」

立野小の多くの子供たちは体を動かして遊ぶのが大好きです。そのような子供たちが体育の授業を楽しみ、実感しながら意欲的に運動に取り組むことができることをめざしています。

小学校での体育の究極的な目標は「楽しく明るい生活を営む態度を育てる。」ことです。生涯にわたって運動やスポーツを豊かに実践し、楽しく明るい生活を営む上での基礎作りをしています。



体力を高める運動（体の柔らかさと巧みさを高める運動）

4月20日（木）5校時

6年1組「体づくり」の授業の様子です。
5, 6年生の「体づくりの運動」は「体ほぐしの運動」と「体力を高める運動」の2つがあります。

授業の最後に「めあて」を振り返ることも大切な学習です。自分の成長を実感したり、次のめあてを考えたりすることもできます。



学習の振り返り

「アクティブライフ」進行中

体力の基盤となっている健康三原則「運動」「食事」「睡眠」の質的向上をめざして、生活を見直し改善する取り組みです。そのために立野小では「体育分科会」「食育分科会」「保健分科会」の3つの組織をつくり、様々な働きかけをしていきます。

運動分科会

毎週金曜日の中休み「タテノンピック」と題して、様々な運動の場を設定しています。今年は昨年度の6種目から12種目に運動の場を増やし、学級ごとに運動ができるようになりました。

○おに遊び○鉄棒遊び○的当て○遊具遊び○長縄
○ボール投げ○竹馬、一輪車○跳の遊び○つなひき
○Sけん○リズム、表現遊び○ろくむし

食育分科会

今年度のねらいは2つ

- ① 食材や献立についての知識を深め、食べることへの意識を高める。
- ② 正しいマナーを身に付けて、楽しく食事ができるようにする。

次号で詳しくお知らせします。

保健分科会

生活リズムチェックのお願い

立野小学校では、昨年度の「健康に関するアンケート」の結果、高学年は『朝すっきり目覚めない』と回答した児童が約半数を占めていました。布団に入る時刻が遅めな児童が多く、十分な睡眠時間を取ることが難しいという状況もあるようです。

そこで、小学生の理想の睡眠時間を知り、一人一人が自分の生活を振り返ることをねらって、生活リズムチェックを一週間行うことにしました。G・W明けの一週間と夏休み明けの一週間、ご協力をお願いします。厚生労働省からは、小学生は心身の健康のために質のよい8時間から10時間の睡眠を取ることが推奨されています。是非、この機会にお子様の生活リズムに目を向けてみてください。

2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて

昨年より、東京の全ての小中学校が東京オリンピック・パラリンピックを盛り上げるための様々な学習を展開しています。立野小では昨年度、オリンピックやパラリンピックに関わる3組の方に来校していただき、お話を聞く機会を設けました。実体験に基づいたお話に熱心に耳を傾け、積極的に質問する子供たちの姿が毎回見られました。



パラリンピック 車いすバスケの日本代表だった根木さんと神保さん来校。障害に向き合い、バスケットボールに真摯に取り組む姿に感動。何台も車いすを持参してくださり、実際に車いすバスケの体験もできました。